



徳島
県立

海部病院

2015.11
広報
vol.20



【特集】

脳神経外科部長に影治照喜医師が就任 ITを活用して病院・医師間の連携を促進！

CONTENTS

脳神経外科・認知症外来について
糖尿病教室のご紹介

REPORT

海部病院地震津波・
トリアージ訓練を実施しました

INFORMATION

インフルエンザ予防接種のご案内

県立病院基本理念 県民に支えられた病院として、県民医療の最後の砦となる

※写真は影治医師と看護師

脳神経外科部長に影治照喜医師が就任

IT を活用して病院・医師間の連携を促進！

平成 27 年 10 月から、海部病院の脳神経外科部長に影治照喜医師が新たに就任しました。

これにより、脳神経外科では徳島大学寄附講座の岡博文医師、兼松康久医師との 3 名体制で診察を行い、認知症外来では、岡医師と影治医師が週に 1 回ずつ診察を行うこととなりました。

Q 海部病院脳神経外科部長へ就任しての感想

A 私は大学病院で 23 年間診療・研究に従事してきました。海部病院では、平成 21 年から診療支援を行っており、平成 23 年からは徳島大学の寄附講座である「地域脳神経外科診療部」のスタッフとして、1 週間に 1 回、診療を行うなど、海部病院での診療は今年で 7 年目となりました。

今回、海部病院の常勤医師として当地に赴任してきました。私の故郷が美波町（旧日和佐町）であり、地元で医療に従事できる喜びを感じています。都市部とは異なり、温かな気候とその中で生活している人々の実直で純朴な住民の皆様の人柄を実感しています。海部地域は人口減少、高齢化、医師不足など多くの問題を抱えていますが、少しでも地域の住民の皆様のお役に立てるように精進していくつもりです。

Q 脳神経外科とは？

A 脳神経外科は、主には中枢神経から末梢神経に至るまで、疾患で言えば、脳卒中、脳腫瘍、脊髄・脊椎疾患、頭部外傷等を内科的治療だけでなく外科的にも治療する診療科です。症状としては、手足の運動麻痺、感覚障害、言葉が言いにくい、ふらふらする、めまいがする、ろれつが回らないといった症状から、物忘れ、性格変化、精神症状が出現することがあり、こうした場合は、脳神経外科を受診することが適しています。

なお、海部病院では平成 25 年 2 月からスマートフォンとインターネットを利用して CT や MRI 等の画像情報等を共有する遠隔診療支援システム「K サポート」を導入しており、急性期脳梗塞患者に対する迅速な対応が可能となりました。

Q 認知症外来について

A 海部病院では平成 23 年 5 月に認知症の早期発見、早期治療、患者様の QOL（生活の質）の向上を目指して認知症外来を開設しました。

認知症外来では、まず、受診していただいた患者さんご家族から詳しくお話をお聞きした後に、認知機能のチェックのために簡単なテストを 30-40 分かけて行います。また、頭部 MRI を行い、脳の状態の評価を行います。それにより、認知症なのかどうか、投薬が必要かどうか、地域で介護保険を使っている生活支援が必要かどうかを検討します。お一人にかかる診察時間が 1 時間程度になるため、原則、月曜日と金曜日の午後の予約制にしています。



脳神経外科部長 影治 照喜 医師

- 診療科：脳神経外科、認知症外来
県立海部病院のほか県立中央病院、那賀町立上那賀病院で診療を実施
- 趣味：ランニング
- 資格：日本脳神経外科学会評議員
日本脳神経外科学会専門医
日本中性子捕捉療法学会幹事
国際中性子捕捉療法学会評議員

Q

脳神経外科と認知症外来では 継続して診察を受けたほうがいいのか？

A

病気の種類にもよりますが、脳卒中の患者さんでは投薬がほぼ生涯にわたり必要ですので継続して診察を受けていただく必要があります。また、高血圧に対してのお薬（血圧を下げる効果）や、脳梗塞の予防としてのお薬（血をサラサラにする効果）は基本的には患者さんの判断でお薬を調節するといけませんので、医師の指示のもとに減量・中止を行っていきます。

認知症の場合は、症状が変動していきますので、適宜、高次脳機能検査を行い、加療を行っていきます。

また、地域の中での生活支援も重要ですので、介護保険の申請やケアマネージャーとの連携を図っていきます。

患者の皆様へ一言お願いします。

私は海部病院を基軸にして、県立中央病院、那賀町立上那賀病院へ診療支援に行っています。

今後、海部地域の医療機関は大きく様変わりしていきます。海部病院は平成 29 年春に、また新美波病院は平成 28 年早々に新病院に移転します。海部地域の医療レベルの向上のために、いろいろな病院に出向いて診療支援を行いたいと考えています。また、限りある医療資源を有効に活用するために各病院間や医師間を結ぶ IT (k-support) の最大限の利用促進を図りたいと考えています。「海部地域から世界に向けて発信!!!」をモットーにやっていきたいと思っています。

平成 22 年までは海部病院脳神経外科は常勤医が不在でしたが、今回、私を含めて延べ 3 名で診療を行うこととなりました。お困り際にはお気軽に受診してください。

脳神経外科について

- 診察日時：平日 9時～
- 受付：診察日の8時～11時30分
- 場所：海部病院1階 脳神経外科
- お問い合わせ先：脳神経外科 ☎0884-72-1166 (代)

認知症外来について

- 診察日時：月曜日、金曜日 13時30分～
 - 受付：お電話等で事前にご予約ください
 - 場所：海部病院1階 脳神経外科
 - お問い合わせ先：脳神経外科 ☎0884-72-1166 (代)
- ※診察は1日2名までとなっております

糖尿病教室のご紹介



リハビリ室
主任主事 富田沙耶香

海部病院では、糖尿病について皆様と一緒に学ぶ糖尿病教室を定期的で開催しています。教室では、医師、薬剤師、検査技師、栄養士及び理学療法士がそれぞれの専門分野において、糖尿病の予防や改善につながる取り組みを紹介しています。ここでは、参考に一般的な糖尿病の運動療法をご紹介します。なお、海部病院の糖尿病教室の平成 27 年度の開催予定は次のとおりですので、ぜひご参加ください。

●糖尿病の予防や改善につながる運動療法

内 容：全身の筋肉を使う有酸素運動（ジョギング・水泳・サイクリング等）

強 度：「おしゃべりをしながら楽しく続けられる」感覚で

頻 度：週 3 日以上（なるべく 3 日以上は空けないこと）

食後 1、2 時間程度が効果的

注意点：低血糖症状（冷汗、手足の震え、吐き気など）に備えて飴玉等を携帯しましょう。なお、症状に応じて運動の実施は主治医と相談の上実施してください。

●糖尿病教室の開催状況

日程 / 講師 ①平成 27 年 12 月 10 日（木） / 医師・検査技師

②平成 27 年 12 月 24 日（木） / 理学療法士

③平成 28 年 2 月 4 日（木） / 医師・薬剤師

④平成 28 年 2 月 18 日（木） / 管理栄養士

時間は全て 14 時～ 14 時 30 分

場 所 海部病院 2 階リハビリ室

参加無料
事前予約不要

病院レポート

海部病院地震津波・トリアージ訓練を実施しました

海部病院では、職員の防災意識の高揚を図るとともに、災害時における本部機能、トリアージエリア機能の充実強化を目的に「海部病院地震津波・トリアージ訓練」を9月9日(水)と10月26日(月)に実施しました。

この訓練では、南海トラフを震源とするM9の地震及び津波が発生したことを想定し、入院・外来患者様の安否状況や施設設備・ライフライン等への被災状況の情報伝達を行うとともに、消火活動等の災害対応に取り組みました。



▲傷病者の重症度・緊急度の判定

◀被災状況の報告

I N F O M A T I O N

インフルエンザ予防接種（高齢者等）について

- (1) 実施期間：平成27年10月1日(木)～平成28年2月29日(月)
※ただし東洋町在住の方は、平成27年10月1日(木)～平成27年12月28日(月)
- (2) 費用：① 1,000円（海部郡内又は東洋町在住で65歳以上の高齢者の方等）
② 4,300円（上記以外で、16歳以上の方）
※接種中止の場合 1,000円
- (3) 接種日時：平日 14時～16時
受付：当日 14時～15時30分（1階会計窓口）
- (4) 場所：海部病院内科外来
- (5) お問い合わせ：☎0884-72-1166（代）

インフルエンザ予防接種（小児科）について

- (1) 実施期間：平成27年10月1日(木)～平成28年2月29日(月)
- (2) 対象者：15歳以下の児童
- (3) 費用：3,500円/1回（※中止の場合 1,000円）
- (4) 接種日時：水曜日 14時～15時（完全予約制、予約は前週の金曜日まで）
- (5) 場所：海部病院小児科外来
- (6) お問い合わせ：☎0884-72-1166（代）



発行・お問い合わせ

発行 平成27年11月 徳島県立海部病院広報委員会
〒775-0006 徳島県海部郡牟岐町大字中村字本村75-1
☎0884-72-1166（代） FAX：0884-72-3521
HP：<http://133.242.186.80/>

海部病院

検索

新病院イメージ図▶

